

令和4年7月4日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長 東海林 肇

園長だより「かけはし」

6月14日に遅い梅雨入りをしましたが、どうやら暑い夏になりそうです。6月23日から水遊びが始まりました。水遊びは季節感があり楽しい反面、リスクと隣り合わせといった側面もあります。天候にも左右されることもあり、予定した日数を開催できない可能性があります。監視体制を確保したうえで、子どもたちがしっかり遊べるよう、関わっていききたいと思います。

いよいよ夏本番となりますが、「子どもたちがワクワクし、楽しみながら遊びに没頭するために、園としては何ができるか」ということを常に考え、感染症対策や暑さ対策に留意しながら、子どもたち一人ひとりと向き合っていくと考えています。また、夏を乗り切るためにご家庭でお勧めするポイントとして



- ①たくさん遊んだ後は、十分に体を休めて、しっかりと睡眠を取りましょう。
- ②バランスの良い食事を心がけましょう。また、朝食は抜かずにしっかり食べましょう。
- ③清涼飲料水はできるだけ減らして、麦茶やお水を飲むようにしましょう。
- ④戸外へ出るときは、直射日光を避けるために、帽子をかぶりましょう。

「待つという気持ち」

育児をするうえでもっとも大切なことは、この先の人生で少しでもいいから子どもに自信をもたせてあげることだと思います。そのためにもすぐに成果を求めてイライラしたりあせったりしないで、じっくり育児に取り組めるといいです。こちらがあせっていると、子どもは親の顔色を伺うようになります。また、親が子どもに何かをちょっとやらせてみて、どうもだめそうだと思う、すぐに移り気を起こして、ぱっと違うことに変えようとする自分自信がもてない性格になりがちです。ですから成長や発達、あるいは、いろんなことが身についてくるのを、こちらがゆっくり待ってあげる姿勢をふだんからもっていると、子どもも徐々に自信をもち始め、少しずつですが身についていきます。そして親は忍耐強さが身についていきます。待ってあげる姿勢は、子どもを十分信頼しているんだよという気持ちを伝えることにもなります。このことは子どもへの愛を、子どもにもっともわかりやすく伝えることにもなります。育てるということは、つまるところ待つことだと思います。「ゆっくり待っていてあげるから、心配しなくていいよ」こんな言葉かけをしてあげてください。つい先に手を出して転ばぬ先の杖になりそうですが子育てはいくつになっても辛抱です。